

「逃げ遅れゼロ」を目指し、大規模氾濫への備えを促進!

【平成30年度 淀川管内水害に強い地域づくり協議会 首長会議 (京都) を開催】

～水防災意識社会再構築に向けた取組みの「中間フォローアップ」～
～記録的な出水となった平成29年台風21号を踏まえ「重点5項目」～



「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく減災に係る取組方針(平成28年8月策定)において、今年度は「水ビジョン」の中間年度になることから、これまでの取組実績や後半の取組予定などを各市町から発表していただき、貴重な情報交換の場となりました。

また、記録的な出水となった平成29年10月台風21号を踏まえ、今後の大規模氾濫への備えとして「重点5項目」を共有し、取組みの促進強化を図ることを確認しました。

継続的なフォローアップと取組施策の重点化による促進強化により、水防災意識社会を再構築し大規模氾濫に備えます。

各市町から発表された主な取組内容

○水害ハザードマップの作成・周知

- ・想定最大規模降雨の洪水浸水想定区域図によるHM更新

○まるごとまちごとハザードマップの整備拡充

- ・認知向上やQRコードなど工夫を凝らした想定浸水位の掲示

○マイ防災マップの作成

- ・マイ防災マップ作成率100%を達成
- ・淀川河川レンジャーの橋渡しによるマップ作成の支援

○多機関連携型タイムラインの作成

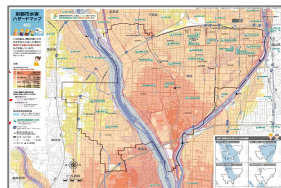
- ・関係機関とのグループワークによるタイムラインの作成

○防災情報伝達力の向上

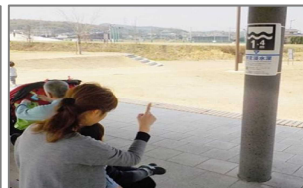
- ・同報系防災行政無線の整備 ・ 防災情報メール等の登録促進

○水防団による水防活動の実施

- ・平成29年台風21号出水時の漏水に対する水防活動の実施



水害ハザードマップ更新



公園の休憩所に設置した
まるまちHM



河川レンジャーの支援による
マイ防災マップ作成



グループワークによる多機関連
携型タイムライン作成



同報系防災行政無線 構成図



水防活動(釜段工)

台風21号を踏まえた大規模氾濫への備え(重点5項目)

- ① 危機管理型水位計の設置
- ② 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ③ 防災教育の促進
- ④ 多機関連携型タイムラインの展開
- ⑤ 水防講習会の開催

◆開催概要◆

開催日時：平成30年5月29日(火)
15:00～16:30
開催場所：京都烏丸コンベンションホール
参加者数：26機関から43名出席

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所 調査課
〒573-1191枚方市新町2-2-10
TEL 072-843-2861

